

| | | | |
|-------|------------------|-----|------|
| 授業科目名 | 図工科指導演法(2100246) | | |
| 時間割名 | 図工科指導演法(23109) | | |
| 時間割担当 | 松井典夫 | | |
| 実施期 | 後期 | 単位数 | 2 必修 |
| 曜日・時限 | 火・3 | | |

授業の目標・概要

図画工作科の授業の目標・内容・方法についての講義を行う。グループや個人で題材研究のテーマを設定し、指導計画、指導案を作成、模擬授業の実践を行う。模擬授業の振り返りにおいて、授業者、学習者それぞれが授業の改善点を議論する。

学習の到達目標

図画工作科の目標・内容・方法を理解し、授業設計や教材開発、授業技能など、基本的な学習指導の関わる実践力を養う。

授業方法・形式

- 1.それぞれの学習テーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。
- 2.必要に応じて、取り上げるテーマに関するディスカッションを行う。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション
図画工作科指導演法の授業計画と、授業目標を理解する。
- 第2回 図画工作科の性格と目標
芸術教科としての図画工作科の性格や目標を、過去の学習指導要領を紐解きながら学ぶ。
- 第3回 図画工作科の内容と指導
学習指導要領をもとに、図画工作科の各学年の内容と指導方法について学ぶ。
- 第4回 図画工作科の指導計画と評価
図画工作科の年間指導計画の一例から、指導計画のあり方と評価方法について学ぶ。
- 第5回 学習指導案
学習指導案の作成ポイントと、それぞれの項目が持つ意味について学ぶ。
- 第6回 模擬授業案作成
模擬授業案を作成し、吟味することによって、学習指導案の作成について学ぶ。
- 第7回 題材研究
模擬授業を行う題材について、吟味、精査し、内容と方法を決定していく。
- 第8回 模擬授業(デッサン)と振り返り-(1)
模擬授業を行い、授業の改善点について議論する。
- 第9回 模擬授業(水彩画)と振り返り-(2)
模擬授業を行い、授業の改善点について議論する。
- 第10回 模擬授業(工作)と振り返り-(3)
模擬授業を行い、授業の改善点について議論する。
- 第11回 模擬授業(デザイン)と振り返り-(4)
模擬授業を行い、授業の改善点について議論する。
- 第12回 模擬授業(鑑賞)と振り返り-(5)
模擬授業を行い、授業の改善点について議論する。
- 第13回 図画工作科の授業と模擬授業総括
師範授業を参観し、模擬授業の総括を行う。
- 第14回 日本と世界の美術教育史
過去の美術教育の歴史について学ぶ。
- 第15回 授業の総括として、これまで身につけたことについてまとめる。

成績評価の基準

毎回の授業中に行う小レポートと毎回の課題レポートを中心に評価し、授業に対する理解度をチェックしていく。(30%)さらに、学習記録ノート(学生作成)の緻密さなどを評価する。(30%)さらに学期末テストにおいて総合的な理解を確認する。(40%)

授業時間外の課題

- ・「小学校学習指導要領解説」図画工作編を読み、題材研究と授業案作成の参考にする。
- ・実際の実践例や小学校図画工作科の教科書を読んで理解する。

メッセージ

授業時間内に指示する。

教材・教科書

文部科学省「小学校学習指導要領図画工作編

参考書

図画工作科学習指導案(松井)